

「災害に備えるワークショップinちば」 開催のお知らせ



開催日時：2022年10月2日（日） 13:00～16:00

開催場所：千葉市文化センター

（住所：[千葉県千葉市中央区中央2丁目5-1](#) 最寄駅：千葉中央駅から徒歩4分）

参加対象者

災害支援に関わっている方、災害支援に興味のある方、行政や企業の災害関連の方など

参加費 無料

講演1：「タイフーンショット計画～台風を脅威から恵みに～」
横浜国立大学 先端科学高等研究院 台風科学技術研究センター
センター長 筆保弘徳 教授

講演2：「房総半島台風被害等に関する支援活動のこれまでとこれから」
災害支援ネットワークちば/千葉南部災害支援センター
代表 加納基成氏

ワークショップ：「これからの台風被害に関する備えとは？」

主催：日本財団

共催：災害支援ネットワークちば

**協力：横浜国立大学 先端科学高等研究院
台風科学技術研究センター**

後援：千葉県（予定）

千葉県社会福祉協議会（予定）

お問合せ先 日本財団 災害対策事業部

（担当：和田、藤重、高島）

saigai@ps.nippon-foundation.or.jp

参加申し込み▼

<https://forms.gle/SDTynHgagixHxLTx9>



登壇者プロフィール

横浜国立大学 先端科学高等研究院 台風科学技術研究センター センター長 筆保 弘徳 教授



2003年に京都大学大学院理学研究科博士課程を修了後、防災科学技術研究所（2003～2006年）、海洋研究開発機構（2006～2007年）、ハワイ大学国際太平洋研究センター（2008～2010年）、横浜国立大学准教授（2010～2019年）、2020年より現職。また2021年10月1日から先端科学高等研究院台風科学技術研究センターのセンター長に就任。

理学博士、気象予報士。第29回地球環境大賞受賞（2020年）。観測や数値シミュレーションを用いた台風メカニズムの研究を行っている。

災害支援ネットワークちば / 千葉南部災害支援センター 代表 加納 基成 氏



環境運動から市民活動の世界へ。NPO・市民活動団体の支援をはじめ、路上生活者の支援、生活困窮、障害等で生きづらさを抱える人たちの場づくり支援で、千葉県内各地を駆けまわる。障害福祉サーピス、介護予防・日常生活総合支援事業（付き添い支援、移送サーピス等）サービス提供責任者としても活動中。

2019年の台風15号を機に、千葉南部災害支援センターを立ち上げ、屋根のブルーシート展張講習会など継続した支援活動も行っている。